

自殺総合対策東京会議ハイリスク者等対策分科会 審議状況 (平成25年度～平成27年度)

資料7

年度	開催日	議 題	主な意見・提案事項
25	3/27	1 東京における自殺総合対策の基本的な取組方針の改正について 2 東京の自殺の現状について 3 自殺対策の取組に係る委員からの報告 4 ハイリスク者等に係る取組について	【自殺未遂者支援事業】 ・ 二次救急機関向けの自殺未遂者への対応フローや、精神科のない二次救急機関に入院している精神疾患のある患者が精神科を受診しやすくする仕組みが必要 ・ かかりつけ医が精神科についての正しい知識を持ち、患者を確実に精神科に繋げることが重要
26	6/30	1 東京の自殺の現状について 2 自殺対策の取組に係る委員からの報告 3 ハイリスク者等に係る取組について	【遺族向けリーフレット】 ・ 警察、医療関係機関、学校、葬儀屋など、遺族と接点があると思われる機関や窓口、専門家に周知し、新たな配布先を開拓することが重要 【自殺未遂者支援事業】 ・ 二次救急では、外科・内科医の対応はまだ十分でないため、意識づけや働きかけが重要
	12/25	1 東京の自殺の現状について 2 自殺対策の取組に係る委員からの報告 3 ハイリスク者等に係る取組について	【自殺未遂者支援研修】 ・ アンケート結果を、今後の事業へ反映することが重要 【自殺未遂者対応地域連携支援事業】 ・ 第三者も含めて、事業内容を検証してほしい。
27	1/21	1 東京の自殺の現状について 2 自殺対策の取組に係る委員からの報告 3 東京都地域自殺対策強化事業について 4 自殺未遂者支援事業について 5 自死遺族支援事業について	【東京都こころといのちのサポートネット】 ・ 本来はソーシャルワーカーがやるべき。サポートネットは、役割分担としてスーパーバイズを行うと良い。 ・ 実績を分析し、今後の事業の在り方の検証にいかすべき ・ 地域（自治体）との連携の強化が必要

<施策への反映状況>

【こころといのちのサポートネット】

- ・ 未遂者支援事業として、「東京都こころといのちのサポートネット」を開始し、対応フローを記載したチラシ等を作成・配布（平成26年7月）
- ・ 外部委員を交えた検討会を開催（平成26～28年度6回開催。外部委員：東京精神科病院協会副会長、東京精神神経科診療所協会事務局長他）
- ・ 平成28年度第1回検討委員会において、実績の検証及び課題を検証（平成29年度から警察へ周知拡充予定）

【普及啓発】

- ・ 監察医務院など、遺族向けリーフレット配布先の開拓を実施
- ・ 保健所と学校、専門機関が協力し、生徒・保護者向け普及啓発小冊子及び教職員向け解説書を作成

【自殺未遂者支援研修】

- ・ 「自殺未遂者支援研修」の実施及び充実（平成24年度から10回開催、301人参加。平成27年度から、区部1か所実施を区部・多摩部2か所実施に拡充）

小学6年生用 生徒・保護者向け普及啓発小冊子及び教職員向け解説書



自殺総合対策に係る区市町村連絡会（第1回）多摩小平保健所提供資料より